

冷たい空気に映える濃桃色 サザンカが見ごろを迎えています



四季折々の花が咲き誇る大阪市立長居植物園（大阪市東住吉区）では、ツバキ科の「サザンカ」が見ごろを迎えています。

●この季節限定！「サザンカロード」

ツバキ園内北側の小径では、美しい濃桃色のサザンカが咲き並ぶ「サザンカロード」をご覧ください。

ポトンと花ごと落ちるツバキと違い、花弁が一枚ずつ散るサザンカ。散った花弁が落ち葉の上を彩る景色に風情が感じられます。



●美しき日本の固有種

サザンカは日本の固有種で、花が少なくなる寒い季節に鮮やかな色の花を咲かせるため、古くから庭木や垣根として利用されてきました。

冷たい空気の中かで凛とした花姿がなんとも美しく、晩秋～初冬にかけて長期間鑑賞できます。



（12月21日の様子）

【本件に関する取材・お問合せ】

長居パークセンター（担当：瀬川）

大阪市東住吉区長居公園 1-23（花と緑と自然の情報センター内）

電話：06-6694-9007（9:00～17:30）

■長居植物園のツバキ園について

長居植物園のツバキ園は、関西の現代の森の様子を表した照葉樹林の中にあります。11月中旬頃から日本の固有種であるサザンカの花が咲き始め、2月頃からは、様々な色や形のツバキの花が咲き始めます。花の少ない時期、鮮やかな色の花は冷たい空気の中に映えています。

ツバキは、主に東南アジア原産の種類のを植栽していますが、一部バラ園に隣接するところには洋種のツバキを植栽しています。ツバキの多様さを楽しめる専門園です。



キンカチャ

赤や白色の花色がメインのツバキ科の中では珍しく、黄色い花が咲く種



ツバキ '秋の山' (あきのやま)

白地に紅色の縦紋が入る、一重咲きのツバキの園芸品種



ヤブツバキ

多くの園芸種のもとになった野生のツバキ

■大阪市立長居植物園について

長居植物園は、緑あふれる自然豊かな“都会のオアシス”として親しまれる日本有数の植物園です。広さ約 24.2ha の園内には約 1,200 種類の植物があり、バラ園、アジサイ園、ボタン園など全 11 の専門園のほか、季節の花が一面に広がる約 2,000 m²のライフガーデンや大池を彩る水生植物など、美しく咲き誇る植物を一年を通じて楽しめます。

2021年11月1日から約5ヶ月間休園し、植物が未来に向けて生き生きと成育できる環境をつくるため、樹木の間伐や根の成長を見越した配置換え（植替え）、土壌改良を経て2022年4月1日に再オープンしました。

<施設基本情報>

名称:	大阪市立長居植物園
所在地:	〒546-0034 大阪市東住吉長居公園 1-23
アクセス:	Osaka Metro 御堂筋線「長居」駅下車。3号出口より東へ約 800m JR 阪和線「長居」駅下車。東口より東へ約 1,000m 近鉄南大阪線「針中野」駅下車。西へ約 800m (電子錠専用)
開園時間:	〈11月～2月〉午前9時30分～午後4時30分 (入園は午後4時まで) 〈3月～10月〉午前、9時30分～午後5時 (入園は午後4時30分まで)
休園日:	月曜日 (休日の場合は翌平日)、年末年始 (12/28～1/4)
入園料:	大人 200円 (30人以上は団体割引あり) ※中学生以下、障がい者手帳等をお持ちの方 (介護者1名を含む)、大阪市内在住の65歳以上の方は無料【要証明 (健康手帳、敬老優待乗車証等の原本)】
問合せ:	TEL:06-6696-7117 FAX:06-6696-7405
ホームページ:	https://botanical-garden.nagai-park.jp/

※大阪市立長居植物園は、大阪市より指定管理者として指定を受け、一般財団法人大阪スポーツみどり財団が運営しています。